

ID No.	3044
研究課題名	単純ヘルペス脳炎治療薬としてのグライコメティクスの開発
研究代表者	北爪 しのぶ(福島県立医科大学・新医療系学部設置準備室・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	川口 寧(東京大学医科学研究所ウイルス病態制御分野・教授) 三浦 里織(福島県立医科大学・新医療系学部設置準備室・助教) 小笠原 直美(東京大学医科学研究所ウイルス病態制御分野・技術補佐員)
研究報告書	<p>共同で進めているAMED糖鎖関連研究に関して、血管内皮特異的にヒトAPPを発現するマウスを作成、解析を行った結果、高齢化によって脳内血管にA<math>\beta</math>が沈着することを明らかにした。また、次世代ADモデルマウスであるAPPノックインマウスとの交配によって、脳アミロイドアンギオパチー病態が増悪することも見出した。これらの結果については、現在共同研究として共著での論文投稿中である。</p> <p>また、可溶性の受容体型プロテインチロシンホスファターゼ・ゼータ(sPTRZ)が原発性脳腫瘍であるグリオーマの髄液マーカーとなることを見出した(<i>Neuro-Oncology Advances</i>. 10.1093/noajnl/vdaa055, 2021)ことから、sPTRZの診断の実用化を目指した基礎研究を共同で進めており、抗原となるリコンビナントPTRZに能特異的な糖鎖抗原を付加させる方法を編み出した。</p> <p>HIV感染に関わる酵素アッセイについて貢献をし、共著の論文が<i>Nat Commun</i>に受理された。</p>